令和８年度豊明市地域包括ケア連絡協議会　議事録

日　時　令和８年８月４日（火）１３時００分～１４時００分
場　所　豊明市役所　２階ホール
出　席　委員 12 名（欠席 1 名）
　　関係機関 9 名（欠席 1 名）
傍聴者　なし

１　あいさつ

委員自己紹介
会長及び副会長の選出
調査研究委員会委員の指名

【会長あいさつ】

第 1 ステージ（2000 年～2025 年）は、医療、介護の目覚ましい進歩により、介護保険給付割合の低下、主要な疾病の減少につながり、2025 年問題は顕在化しなかった。

第 2 ステージ（2026 年～2040 年）は、団塊ジュニアの後期高齢化と「人生 100 年時代」。これまでに培ってきたサービス提供パターンでは課題解決できない状況になる。心と体は健康だが生活が維持できない人が増加する。医療、介護では解決できない問題のため、行政のサポートが重要である。

市の問題を見極め、この場でしっかりと話し合い、力を合わせて進めたい。

【副会長あいさつ】

熊本地震で亡くなられた方へのお悔やみ、被災された方へのお見舞いと、現地へ支援に行った方へ敬意を表明。

被災地では熱中症の問題が大変な状況。介護や医療機関においてもＢＣＰの策定が義務化されている。ＢＣＰは策定するだけではなく、有事の際に運用できるよう、点検などを行うことが重要。

２　議　題

（１）各委員（団体）からの報告

資料を基に、各委員（団体）から報告。

資料 1-1　豊明市看護連絡協議会
資料 1-2　豊明市リハビリテーション連絡協議会
資料 1-3　豊明市介護支援専門員連絡協議会

【質疑応答】

委員：カスタマーハラスメント対策への具体的な取り組みはあるか。
→契約書や重要事項説明書の見直しや、カスハラについての記載をすることから始めようと考えている。

委員：契約書やフローチャートのたたき台を作った際には共有していただけると

ありがたい。

会長：委員間で話し合いながら良いものを作り、皆が共有し合うことは合理的であるため、協力しながら進めてほしい。

資料 1-4　豊明市ソーシャルワーカー連絡協議会

資料 1-5　豊明市栄養士連絡協議会

資料 1-6　豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」

資料 1-7　豊明市シルバー人材センター

資料 1-8　豊明市保健事業の共有

【質疑応答】

委員：市内に透析患者が多い理由はあるか。

→糖尿病の患者数が特段他の地域に比べて全体的に多いわけではない。若い時から透析が必要になっているケースが最近多い。

会長：透析の患者数は、医療資源がかなり影響する。藤田医科大学があるため、早期から治療に入ることができる。そのため、施設があるところの患者数は多くなる。

資料 1-9　豊明市消費者安全確保地域協議会

（２）第１０期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に係る住民健康実態調査の結果概要について（資料 2、補足資料）

事務局から説明。

会長：各協議会の活動において、85 歳以上に対して何を行っていくか。

重点取組事項に挙げた課題を解決するために協議会は何をすべきか考えてほしい。

高齢者の定義を 65 歳から 75 歳に変えると、労働力不足がなくなり、高齢者のバックアップ体制も大きく変わる。豊明市は、国際的な基準ではなく、現実の社会を見て 75 歳以上にターゲットを変えると非常に良くなるだろう。

尾張東部医療圏、知多半島医療圏では、いち早く 85 歳以上が増え、市全体の人数が減ってくる。この特徴も踏まえ考えていく必要がある。

（３）その他

特になし

以上